

教育目標

自主  
他敬 自愛  
創造

# 内野中だより

内野中ブログ  
QRコード



新潟市立内野中学校だより 令和5年11月13日(月)発行 第7号 新潟市西区内野西1-10-1 電話 025-262-3161  
生徒数 1年生253名 2年生255名 3年生278名 計786名(7月21日現在)

## Well-Being を目指して

校長 佐藤 靖子

お布団の中で、または、自宅で学習をしながら、「今頃、りゅーとびあでは、皆、歌っているのかなあ？」と心は輝瞳祭に思いを馳せていた人もいた10月24日(火) だったのではないのでしょうか。猛暑の9月を終えた後、急に涼しくなり新型コロナウイルス感染症がやや落ち着いてきたと安堵した矢先にインフルエンザがはやり始めました。残念ながら、3つのクラスが学級閉鎖となり、その対象クラスのみ、11月6日(月) 15:30~16:00 まで合唱の発表会を実施させていただきました。りゅーとびあや当校体育館までご来場いただきましたご家族の皆様、ご多用の中、ご鑑賞いただきまして誠にありがとうございました。お子さんたちの歌声は如何でしたでしょうか?今年度の輝瞳祭スローガンは「Catch Voice~君たちはどう伝えるか~」でした。各クラスや合唱部が伝えたいメッセージ、思いは何なのか?何のために、誰のために、どのように歌えば思いが伝わるのか?朝、昼、放課後とできる限りの時間を使いながら仲間と共に切磋琢磨して練習に励んできた過程は、宝物だと思います。特に3年生の歌声の完成度は高く、どのクラスの歌声も圧巻でした。それに続いた合唱部の澄み渡り、繊細な旋律と強弱を見事なまでに会場に響き渡らせるハーモニーはさすが全国レベルを誇る合唱部でしたし、最後を締めくくった「栄光の架け橋」は40名近い3年男子も加わり、迫力のある素晴らしい歌声でした。あれらの歌声の数々は、今しか聞けない儚さもあります。音楽は人の心に様々な思いを巡らせ、それぞれの過去や現在、未来へと誘います。歌声を聞きながら、皆さんはどのようなことを感じ、どのようなことをメッセージとして受け取ったのでしょうか?私は、このような歌声の響いている空間にいる自分も Well-Being なひと時に浸っていると実感していました。今年度「**学校は幸せ(Well-Being)になる方法を学ぶ所**」を筆頭として教育ビジョンに掲げさせていただきました。Well-Being は聞きなれないかもしれませんが、そもそも、第二次世界大戦後の1947年世界保健機関(WHO)憲章前文に、「病気でないとか、弱っていないということではなく、**心と身体と社会の良い状態**」と提言されました。今、混沌とした世界情勢の中で、この Well-Being が最重要視され、このことこそが、私たちも含めて全世界が目指すものであり、子どもたちを育む上で大切な要素がたくさんあると考えます。輝瞳祭で真剣に歌う姿には、まぎれもなく幸せな気持ちにさせてくれました。閉会式の挨拶で輝瞳祭実行委員長 渡邊 愛生さんは、最後に実行委員、指揮者、伴奏者、そして、パートリーダーの全員をその場で起立を促し、互いに賞賛の拍手を送り合う場面を創り出し、まさに、内野中全体が幸せ空間を紡ぎ出した瞬間でした。クラスで順位を競うために歌うのではないからこそ、輝瞳祭は大きな価値があります。来年度の輝瞳祭はどのような仲間とハーモニーを紡ぐのか?そして、半年後に卒業を控えている3年生は、これから歩む道での Well-Being をどのように紡ぎ出していくのか?それぞれの成長がとても楽しみです。



## 第2学年修学旅行 他人事でなく自分事として

11月20日(月)～22日(水)2泊3日で第2学年は、東北地方へ修学旅行に行きます。1日目は、仙台市内で、震災復興を遂げ困難を乗り越えた企業を訪問。2日目は、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館(元 宮城県立気仙沼向洋高校)と陸前高田市の道の駅 高田松原「いわてTSUNAMI 伝承館」で震災経験者からのお話を伺い、奇跡の一本松を尋ねます。3日目は、仲間との思い出作りで那須ハイランドパークを訪れます。

事前学習として、9月15日(金)には、陸前高田市を拠点として桜の苗木を植樹している「桜ライン311」の代表 岡本翔馬さんとzoomでつなぎ、東日本大震災の時の状況や現在の取組を教えてくださいました。「桜ライン311」とは、最大津波到達地点に桜を植樹する団体です。岩手県、宮城県、福島県の各3県に拠点があります。東日本大震災で押し寄せた津波最大到達地点をつなぐと約1,000kmです。1,200年前から三陸には17回も津波が到来し、先人たちの津波の教訓は石碑で記されていました。「この下に家を立てるべからず」と。しかし、それら多くの石碑は樹木で覆われ、誰も気づくことができない状態になっており、宅地開発は海の方まで広がっていきましました。桜は日本の国花であり、日本人にとって特別な存在です。そして、この内野地域も桜は誇りであることから、桜のつなご縁と、いつか起きるかもしれない日本海側の震災への備えを学び、30年後も100年後の未来を守るために、内野中2年生は、日本海側初参加団体として、三陸へ桜を植樹して参ります。自分事として、また、内野地域の皆様にこの趣旨を知っていただく活動として、現在、内野中プロジェクトチームが、桜の苗木を植樹するための寄付金を募っています。今、自分たちができる、広める、関わるボランティアとして、寄付金を集め、今後の桜植樹に役立てて欲しいという願いで活動をしています。趣旨にご賛同いただける方々は、下記の期間、内野中生徒玄関前で募金を行っております。寄付して下さった方には、桜シールをプレゼントし、生徒玄関前の桜の幹に貼っていただいております。現在、五分咲きです。満開を目指して、各クラス代表が活動しております。皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



↑ 陸前高田市「桜ライン311」代表 岡本翔馬さんとzoomでつないだ授業

### 心に刻む修学旅行 他人事でなく自分事 内野から思いを届ける 桜のご縁



募金活動期間  
11月6日(月)  
～14日(火)  
朝7:50～  
8:10  
内野中生徒玄関前

## 第1学年 対話スキルの ファシリテーション を用いて

### 「内野地域の持続可能な行動を考える」9月21日(木)

主催：新潟市環境政策課 支援者：みらいず works

9月21日(木)のPBLの時間(総合的な学習の時間)にNPO法人みらいず worksさんからお越しいたいただき、ファシリテーションのスキルを学びました。ファシリテーションとは、集団で話し合う際に参加者全員が平等な立場で意見を出し合い、方向性を決めるために合意形成を図る方法のことです。

授業の前半では、ファシリテーションの際に、人の話は最後まで聞くことや、人の話は絶対に否定しないことなど大事にすべき基礎的な姿勢について学びました。その後、学んだことを生かして質問ゲームやグループ対話など実践的な活動を行いました。生徒たちは、楽しそうに班員と関わっている姿が印象的でした。

グループ対話では、「中学生として持続可能な地域(内野)にするために何ができそうか?」というテーマで話し合いを行いました。グループ内で積極的に意見を出し合うだけでなく、友達の意見を聞く際には相槌を打つなど意見を出しやすい雰囲気を作って、お互いの考えを深めました。当校では「自治」と「自律」を目標としており、生徒は自分たちの手で物事を進めたり、ルールを考えたりしていきます。そのためには仲間と関わり、お互いの意見を否定することなく、合意形成する力が求められます。これは大人でも同じです。教員も大いに学ばせていただきました。今回は、合意形成の方法の一つとしてファシリテーションを学びましたので、今後もこの身に付けた話し合いのスキルを様々な場面で生かし、自分達の手で物事を進める力を付けていって欲しいと思います。



## 全日本合唱コンクール関東大会 に出場して

私たち合唱部は9月17日に茨城県水戸市で行われた全日本合唱コンクール関東大会に出場させていただきました。8月に行われた県大会から関東大会まで長いようでとても短かったです。テスト勉強、飛翔祭その合間に練習と部員一人一人が上手にやりくりし頑張りました。関東大会では、今までの練習の成果を出しきることができました。そして何より誰一人欠けることなく部員全員で聞いてくださる方の心に届くそんな合唱ができたことが嬉しかったです。この日を迎えるまで私たちを支えてくれた部員のみんな、先生方、保護者の方々、本当にありがとうございました。私たち3年生は輝瞳祭を最後に引退しましたが、1・2年生には心を合わせ想いを届ける合唱を受け継いでいって欲しいと思います。



## 女子テニス部 北信越大会に出場して

私は北信越大会に出場して、まず県大会とは会場の雰囲気や緊張感が違いました。いつもとは違う場所、見慣れない人たち、打ちなれないコートの中で普段通りの試合をするのはとても難しく自分の思い通りのプレーができませんでした。そして、目標にしていた全中出場が達成できなくてもものすごく悔しかったです。特に団体戦ではあと1勝すれば…というところで負けてしまいとても悔いが残っています。なので、来年は全中に出場し、1勝でも多くできるように日々の練習を集中して取り組んでいきたいのと全中でも戦えるような技術やプレイメンタルを身に付けて、悔いの残らないような試合ができるよう努力していきたいです。



## サッカー部 全国大会に出場して

サッカー部は8月、全国大会に出場しました。僕が全国大会に出場してみて感じたことは、全国は勢いだけでは勝てないということです。全国出場が決まり、自分たちなら全国でも勝てる！勝てるでしょ！などの気持ちの余裕ができた時に自分たちは他の中学に比べて全国を甘く感じながら過ごしていたと思います。しかし、実際に全国大会に出てみたら気持ちに余裕などもせず、普段の行動すら緊張していました。僕たちは試合になっても緊張がほぐれず、始まってもうまくいかず試合には負けてしまいました。試合に負けたという実感が湧きませんでした。現実なんだと分かってからは悔しくなりました。この時に感じたことはこんなにも全国の山は高いのかということです。しかし、後悔したなという気持ちにはなりません。全国で勝てるようになるためにはもっと練習をして強くなって、次こそは勝てるようにしたいと思います。



## 吹奏楽部 内野まつり バンド フェスティバルに出演して

私たち吹奏楽部は、9月16日に行われた内野バンドフェスティバルに出演してきました。私たちにとってこの日は1年生から3年生までそろって演奏をした初めてのステージでした。また、40人を超える大人数での演奏も初めてだったので指揮となかなか合わないなど苦労した部分もたくさんありました。ですが、当日は地域の方、小学生、高校生などたくさんの方々からの応援や保護者の方が楽器運搬などでサポートをしてくださったおかげで楽しく演奏することができました。私たちの音楽を地域の方に聞いていただけたとてもいい機会になりました。

新潟万代ライオンズクラブ 主催

## 新潟市ジュニア俳句大会 入賞者 学校特選

鏡見て笑みがこぼれる日焼けかな

学校佳作

昼ね人かすかに聞こえる羽音かな

学校佳作

夕浜を波と歩みて風涼し

学校佳作

さきさきと家族総出で煤払い

学校佳作

交差するギター之音と夏の風

学校佳作

街路樹のせみの鳴き声たくましい

令和5年度 市新人大会 (西地区) 結果

内野 ●0-3 関屋

予選L 3位

野球部

第1試合	内野	●4-5	黒埼・赤塚
第2試合	内野	●1-6	山湯
0勝2敗			

サッカー部

1回戦	内野	○24-0	西川
2回戦	内野	○4-1	高志・附属合同
ブロック1位			

男子ソフトテニス部

■団体戦 (トーナメント)			
2回戦	内野	○2-1	五十嵐
準決勝	内野	●0-2	巻西 <b>第3位</b>

女子ソフトテニス部

■団体戦 (トーナメント)			
2回戦	内野	○3-0	上山
3回戦	内野	○2-0	赤塚
準決勝	内野	○2-0	坂井輪
決勝	内野	○2-1	巻東 <b>優勝</b>

男子バレーボール部

<予選L>	内野	●20-25	黒埼
	内野	●21-25	中之口
<2次L>	内野	○2-0	早通
	内野	○2-0	小針 <b>第7位</b>

女子バレーボール部

第1試合	内野	○2-0	白根第一
第2試合	内野	○2-0	宮浦
第3試合	内野	△1-1	西川
第4試合	内野	△1-1	巻東
第5試合	内野	○2-0	高志中等
ブロック1位			

男子バスケットボール部

第1試合	内野	●29-107	新潟柳都
第2試合	内野	○79-29	岩室
リーグ2位			

女子バスケットボール部

第1試合	内野	○51-47	宮浦
第2試合	内野	○69-34	白根北・黒埼
リーグ1位			

男子卓球部

■団体戦			
<予選L>	内野	○3-0	新潟柳都
	内野	○3-1	小針
<決勝T>			
1回戦	内野	○3-0	赤塚
2回戦	内野	○3-1	巻西
準決勝	内野	●1-3	五十嵐
3位決	内野	○3-2	鳥屋野 <b>第3位</b>

女子卓球部

■団体戦			
<予選L>	内野	○3-2	小針
	内野	○3-0	附属新潟

バドミントン部

■個人戦シングルス	
	<b>第5位</b>

■個人戦ダブルス	
	<b>準優勝</b>

■団体戦 (ポイント制)	
	<b>準優勝</b>

剣道部

■男子団体戦			
<予選L>	内野	○5-0	新津第一
	内野	△2-2	新津第二

<決勝T>			
1回戦	内野	○2-0	白根第一
2回戦	内野	○3-0	石山
準決勝	内野	○2-1	黒埼
決勝	内野	●1-2	上山 <b>準優勝</b>

■女子団体戦			
<予選L>	内野	○4-0	白根第一
	内野	○5-0	上山

<決勝T>			
2回戦	内野	○3-1	鳥屋野
準決勝	内野	○3-1	坂井輪
決勝	内野	○3-0	新津第二 <b>優勝</b>

硬式テニス

■男子個人戦	<b>5位</b>
--------	-----------

陸上競技部

■男子	
共通 400m	<b>5位</b>
共通 1500m	<b>2位</b>
共通 1500m	<b>3位</b>
共通 3000m	<b>5位</b>
共通走高跳	<b>1位</b>
共通走高跳	<b>3位</b>
共通棒高跳	<b>1位</b>
1年 100m	<b>6位</b>
1年 100m	<b>7位</b>
1年 1500m	<b>7位</b>
■女子	
共通 800m	<b>1位</b>
共通棒高跳	<b>1位</b>
1年 800m	<b>6位</b>
1年 800m	<b>7位</b>

水泳

■男子	
50m平泳ぎ	<b>2位</b>
100m平泳ぎ	<b>1位</b>
200m平泳ぎ	<b>2位</b>